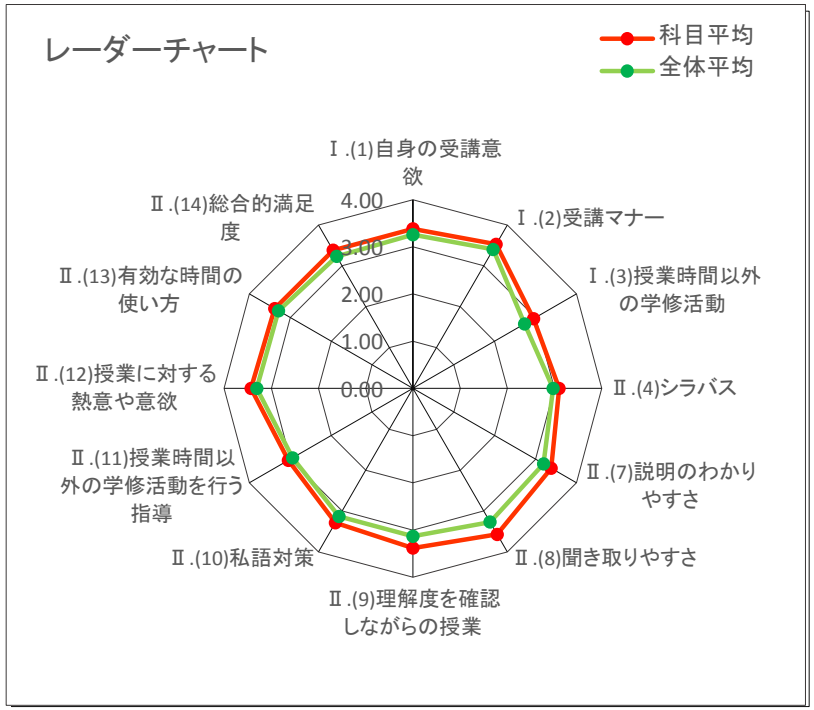
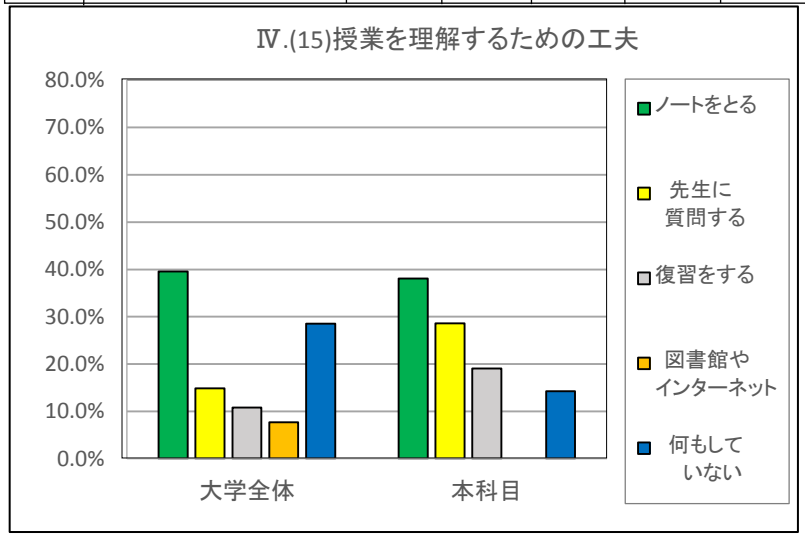
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.38	3.26
	Ⅰ.(2)	3.52	3.40
	Ⅰ.(3)	2.95	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.10	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.38	3.20
	Ⅱ.(8)	3.57	3.27
	Ⅱ.(9)	3.38	3.13
	Ⅱ.(10)	3.29	3.13
	Ⅱ.(11)	3.05	2.94
	Ⅱ.(12)	3.43	3.31
	Ⅱ.(13)	3.38	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.38	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	38.1%	28.6%	19.0%	0.0%	14.3%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.29	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	3.32	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.38	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	13304/13357
科目名	簿記Ⅰ/簿記
教員名	

①授業計画の達成度について

本講義は初めて大学で簿記を学ぶ学生に対して、用語や簿記システムについての講義であったが、他の本やワークブックからの説明や問題点を交えた授業など、計画を達成できたと考えている。最初の授業でシラバスのコピーを配布し、授業の目的を認識させた上で、授業計画に従って授業運営を行い、当初の授業計画を達成できたこと。また難易度は適切であることは、設問4･5･6の結果は全体平均を上回っていることからも判断できる。

②授業の進め方について

本講義ではマイクを使わなかったので、声や言葉、留学生にも説明は明瞭であるかを十分注意しながら講義した。特に折に触れて授業の理解度についてのアンケートを実施した。いろいろ講義内容を考え、理解されるよう、毎回、講義内容と説明方法を研究し、理解されるよう努力した。特に、授業においては、板書や補助プリントを配布し講義を行った。それなりに理解されたようである。本年の授業は静かな授業環境は守られた。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

設問14の結果から見ても、本授業についての学生の授業満足度は高いといえる。本科目の授業評価アンケートの数値は全てにおいて全体平均を上回っているが、より学生の満足度を高める授業の改善や計画を実施したい。また学内のよい公開授業がある場合は、積極的に参加し、FD講演会にも出席し授業改善に努めたい。

奈良学園大学